

平成 26 年度 全国学力・学習状況調査

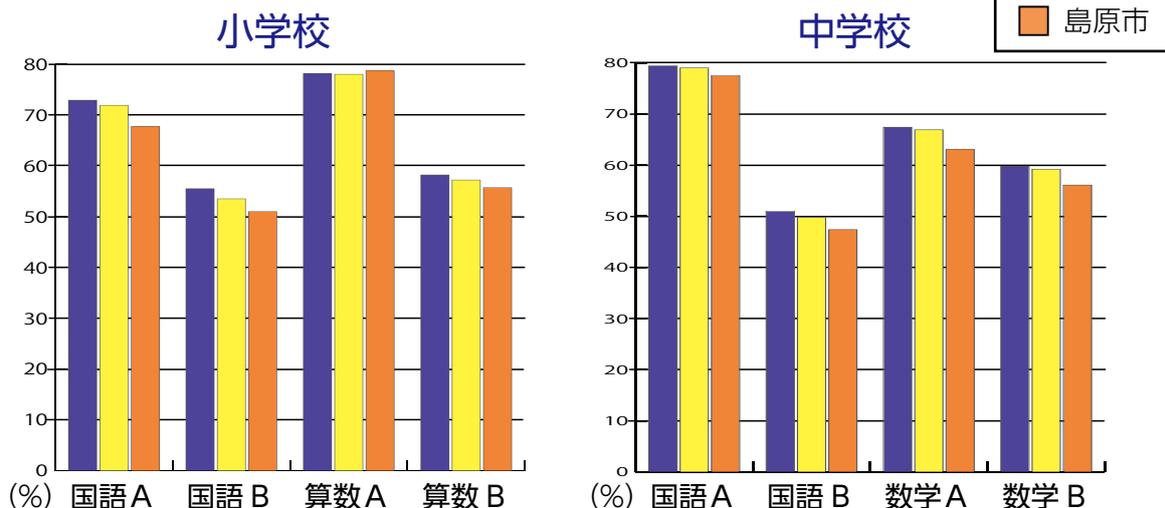
今年度の全国学力・学習状況調査が次のとおり実施されました。島原市内の小・中学生の状況についてお知らせします。

▶調査対象学年 小学校第 6 学年、中学校第 3 学年（原則として全児童生徒が対象）

▶調査実施日 4 月 22 日

全国学力・学習状況調査結果

①教科に関する調査（調査区分ごとの平均正答率）から



※国語 A、算数 A・数学 A…知識や理解の程度を図るもの

※国語 B、算数 B・数学 B…学習してきたことを活用して問題を解く力の程度を図るもの

○小学校算数 A の平均正答率が、全国平均、県平均を上回りました

○小学校国語 B・算数 B と中学校国語 A・B が、全国平均、県平均を下回ったものの、その差は昨年度より縮まっています

②児童生徒質問紙調査（学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面などに関する調査）から

- ・「テレビやゲーム」「インターネットやメール」の使用については、依然として平日に 2 時間以上使用している子どもがおり、家庭と協力し改善が必要です
- ・「学校に行くのは楽しい」と思っている子どもたちが多いことが分かります
- ・「朝食を毎日食べる」「毎日同じくらいの時刻に起きる、寝る」については、できていることが分かります（昨年同様）

学力向上への取り組み

①各学校で、週 1 回 30 分の学習の補充時間を設定しています

②小学校 4 年生と中学校 1 年生に、市の学力調査を行っています

③それぞれの課題に合わせた多くの問題を用意し、取り組ませています

※「基本的な生活習慣が身につけている児童生徒は、平均正答率が高い傾向にある」となっていますので、生活リズムを整えるよう、学校と家庭が連携した取組を続けていくことが大切です

▶問い合わせ先 学校教育課（☎ 68-1111 内線 642）